まちかどネットワーク

市長への手紙から

東部市民プラザプールに休憩用の日よけを

このコーナーは、「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、中里三の小野瀬末子さんからいただいた「東部市民プラザのプールの日よけ」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります）

〈市長への手紙〉

私は六十七歳の老母です。毎年夏になると息子が孫たちと一緒に何度かプールへ連れていってくれます。

もちろん、私は泳げませんのでベンチや木陰で、孫たちの喜ぶのを注意深く見守っています。

そこでお願いするのは、東部市民プラザのプールです。昨年できたばかりですから無理かと思いますが、日陰がないので、暑くてたまりません。

何とか、もう少しベンチをふやし緑の木を植えていただけないでしょうか。できることなら屋根つきのベンチをふやしてください。

入場料もいらない東部市民プラザで、不平を言うのは不当かと思いますが、よろしくお願いします。

小野瀬さんと孫の陽子ちゃん

日よけを設置

〈市長の答え〉

市長への手紙ありがとうございました。

東部市民プラザは、小野瀬さんのように三世代交流の場ともなるよう建設されました。ですから、お年寄りがお孫さんと一緒に来て、お孫さんがプールで遊ぶのを見られることも多いようです。

そこで、本年度、プールから上がった人やプールに入らない人が休憩できるように日よけをつくりました。

競泳用プールに約六メートルの日よけを二ヵ所、児童用プールに一ヵ所の計三ヵ所に設置しました。

また、ベンチも多数用意し、より利用しやすくしました。

どうぞお楽しみください。

△東部市民プラザのプールにできた日よけ

クローズアップ人

新・富士市青少年の船の実行委員長

佐藤忠正（さとうただまさ）さん

（中丸・39歳）

「君に新たな感激を」をテーマに田子の浦港を出港する新・富士市青少年の船。クレードアップしたことしは、八月十六日から十九日まで、種子島へ行ってきます。

実行委員長として白羽の矢が立ったのが、佐藤忠正さん。過去五回、県青年の船に幹部として乗った経験を買われました。

参加者は計四百八十六人。うち、三百五十一人が中学生とあって、安全でいかに楽しく運営できるか、準備に追われる毎日です。

「参加者の班を中学生から青年まで異年齢で構成し、様々な青少年活動関係者が集まって運営する初めての取り組み。責任の重さを感じています」と能弁に話します。

洋上研修の魅力を「海に出れば、運命共同体。陸では味わうことのできないロマンだね」と語る情熱家。青年団の団長のころから有名だった機関車のような馬力は、今も健在です。

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先…市内永田町一―一〇〇 市広報広聴課 ☎五二―〇二三 内線二八三

締め切りは毎月十五日です。